

第1回 駅まち空間デザイン検討会議

意見要旨

○議題(1)～(5)に対する質疑・意見

No.	意見等要旨	意見等に対する説明
1	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の通過交通の問題は、周辺の街路や国道などの道路事業に影響を受けるため、より広範囲での分析や将来交通量を踏まえた検討が必要と考える。 ・今回の検討内容が何年先をターゲットとするかが重要である。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通過交通の問題は広域でのネットワーク検討が必要と認識しており、分析結果を示しつつ議論したい。 ・目標年次は、えきしる空間活性協議会にてえきまえエリアビジョンでは概ね20年先を提案しており、関連性を整理する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の高速バスは、バスターミナルを閉めた後の発便を除き、乗り場は集約している。 ・将来的なことを考えても、商業との位置関係、シームレスな乗換えを考慮して、東口側の方が良いと感じる。 ・そういったことも考慮して検討いただきたい。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性は、複数のパターンを提示しつつ協議させていただきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・構想の目標年次を何年後とするかによって、交通環境が変わると想定される。リニアが開通すると、甲府などから高速バスで松本に移動することが想定されるため、駅前広場に必要な機能や規模は、時間軸を念頭に検討する必要がある。 	-
4	<ul style="list-style-type: none"> ・松本は、シーズンにより観光客の数が大きく変動するので、タクシープールの規模検討にあたっては、そのような特性も加味していただきたい。 ・自家用車がバス・タクシーロータリーに侵入することがある。また、ロータリー内の安全性確保のため、バスとタクシーの施設を分離して配置するといった検討も必要と考える。 	-
5	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議体では様々な可能性を追求いただくことに期待している。 ・松本市と人口や乗降客数が類似する他都市の事例と比較し、それを学びながら、松本駅はさらにその先を目指していただきたい。 ・時間軸を設定し、5年などの短期でできること、長期で進める 	<p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ目標・シナリオを共有しつつ、時間軸を設定し、ステップアップすることが重要というご指摘をいただいた。

No.	意見等要旨	意見等に対する説明
	<p>ことを見据えて検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議では、施設配置を3案まで絞ることとなるが、その後の検討で1案に絞ることができるのか。条件設定が必要である。社会実験を通して検証する形も考慮しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の駅前広場の事例整理・比較検討は重要であるため、世界の事例も含め、事務局にも検討いただきたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する団体の中では、国道19号の拡幅整備が済むことで、お城口側への交通動線も変わるのではないかと意見がある。 ・また、アルプス口側に駐車場があれば、中心市街地のウォーカブルな環境形成につながるのではといった意見や、お城口の駅前広場からバスターミナルの距離が少し離れており、来訪者への案内に気を使っていると意見がある。 ・観光客はスーツケースを持参する人が多く、距離抵抗を減らすことは観光客のニーズである。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルプス口側への駐車場の整備は、昨年の提言でも言及がある。 ・駐車場の整備により、お城口側の通過交通を抑制することが期待できるが、それだけでは十分でないため、他の可能性も検討したい。 ・駅前広場からの円滑な動線は市としても課題と考えているので、検討する。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の施設配置は、安全面を考慮すると、各種交通手段(バス、タクシー、自家用車等)の分離が理想と考える。この場では理想を提示し、課題を検討していきたいと考える。 ・駅周辺を市民が楽しめる場所にすることで、観光客にも楽しんでいただけるようになると考えており、メインターゲットは日常利用(家族連れや通勤通学者等)を想定している。 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・松本市では、老朽化した建物を建て替える際に適用するデザインコードの検討を進めている。広告物の規制や建物のセットバック、眺望が見える高さ規制などにより松本らしさを醸成していきたい。 ・あがたの森通りが松本市のメイン通りとなるので、松本建設事務所や地元住民とともにワークショップにて方向性を検討している。 ・目指す姿の中で、駅前記念公園や花時計公園の利用についても協議させていただきたい。 ・交通ネットワークや道路空間の再配分をしっかりと議論し、松本市の交通のあり方を決めていきたいと考える。 	

No.	意見等要旨	意見等に対する説明
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の検討に並行して、松本市役所の新庁舎建設や、駅前へ窓口機能を設置する駅前センター整備といった検討を進めている。駅前が交通の拠点だけでなく公共施設など様々な機能が求められていることも念頭にご意見をいただきたい。 	-
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今取り組むこと、次に取り組むこと、全体のビジョンを併せて検討する必要がある。また、駅前への市の窓口機能や公共施設といった話が、スケジュールのどこに位置するのかもポイントのひとつである。 ・ あがたの森通りからの景観を重要視する場合は、長野駅の事例のように駅と一体となった設えを検討する必要がある。推進にあたり、障害となる要素は課題として取り組み、市民や観光客が松本駅に来たと感じられるような場所を目指せるとよい。 ・ 駅前広場でどのような利用が求められているのか、市民が何をやろうとしているかを分析し、駅前広場に必要な機能(芝生等)や、屋内・屋外の適地、連携すべき機能を考えていけるとよい。 ・ 現況の交通量調査結果はH27時点であるため、現時点で増減しているかも念頭に置きつつ全体を議論できるとよい。 ・ 次回に向けて、今回の意見を整理しつつ、他都市の事例も参照し、松本らしい駅前とするために知恵を出しつつ議論させていただきたい。 	-
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場だけを見ても議論に限界があるため、周辺の地権者の方々など、枠組みを広げて可能性を一緒に考える必要がある。それによって松本の可能性も広がると考えるため、議論の枠組みの型をはめずに、様々な方を議論に巻き込んで進めていただければよい。 	-
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松本駅が良くなることで、結果的にまち全体が良くなるという前提で、議論していけるとよい。 	-

以上